



## CMは世界を変えられるのか!?

若き広告マンが恐怖政治に挑む、命がけのキャンペーン!  
これは実話をもとにした真実の物語

まだまだやれる、私たちも。  
真っ直ぐに熱く、されどユーモアも忘れずに。  
諦めない、あとずさりしない、  
希望を置き去りにしない、沈黙は破るためにある……。  
本作品を観て、そう再認識した。 落合恵子(作家)

ガエル・ガルシア・ベルナル演じる「NO」陣営に雇われた若き広告マンが斬新かつユーモア溢れる大胆なアイデアで、支持派の強大な権力と向き合い熾烈なメディア争いを繰り広げていく。広告の力が社会に与える影響を観る者に問う、傑作社会派エンターテインメント映画が誕生した!

第65回カンヌ国際映画祭 監督週間アートシネマアワード(最高賞)受賞

## 映画「NO」 無料上映会&茶話会

千倉・鴨川・館山にて、3回上映します。詳細は裏面をご覧ください。



## < 上映会日時 >

① 6月25日(土) 13:30開場 14:00上映 16:30終了  
千倉・花の谷クリニック内 庄左エ門

(南房総市千倉町白子2446 090-3312-7607)

② 7月1日(金) 18:00開場 18:30上映 21:00終了

鴨川・まちの縁側かもがわ (駐車場は一戦場公園をご利用下さい。)

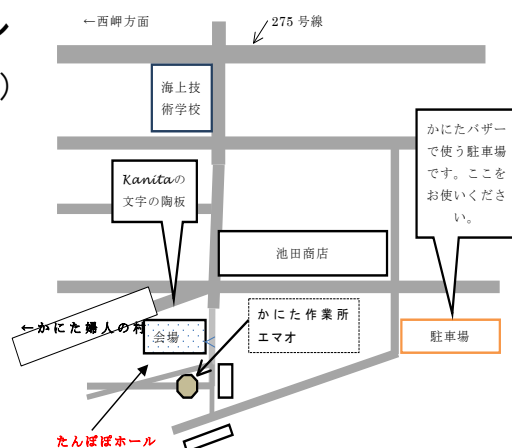
(鴨川市貝渚2011-1 080-1009-6222)

③ 7月5日(火) 18:30開場 19:00上映 21:30終了

館山・かいた婦人の村 たんぽぽホール

(館山市大賀597 090-6694-7560)

予約は不要です。  
お茶菓子代:600円



CMは世界を変えられるのか!?若き広告マンが恐怖政治に挑んだ、政権打倒キャンペーンの行方は—世界の名だたる映画祭や映画賞で高い評価を受け、公開された国々で軒並み大ヒットを飛ばしているチリ映画『NO』が遂に日本上陸！本作はパブロ・ラライン監督の長編『トニー・マネロ』、『検死』に続くチリ独裁政権3部作の完結編。

1988年ピノチェト政権末期、長きにわたるアウグスト・ピノチェト將軍の軍事独裁政権に対する国際批判の高まりの中で、信任延長の是非を問う国民投票が実施されることになり、ピノチェト支持派「YES」と反対派「NO」両陣営による1日15分のTVコマーシャルを展開する一大キャンペーン合戦が行われる。ガエル・ガルシア・ベルナル演じる「NO」陣営に雇われた若き広告マンが斬新かつユーモア溢れる大胆なアイデアで、支持派の強大な権力と向き合い、熾烈なメディア争いを繰り広げていく。広告の力が社会に与える影響を観る者に問う、傑作社会派エンターテインメント映画が誕生した！  
また、本作は実話を元にしており、撮影技法も当時の映像とドラマが巧みに融合していくことを狙い、ビンテージカメラを使用、実際の映像とフィクションをうまく交錯させて、作品の舞台である80年代を追体験するような演出効果に成功している。(上映時間 1時間58分)



主催: 安房「未来を決める千葉の会」

お問い合わせ: 090-3312-7607